

令和4年（2022年）7月教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年（2022年）7月27日（水） 午後2時00分～午後2時47分

会 場 柏崎市市民プラザ301会議室

出席者 教育長 近藤喜祐
委員（教育長職務代理者） 米谷杉子
委員 阿部健志
委員 三嶋崇史

欠席者 委員 梅田広美

説明のため出席した職員

教育部長 宮崎靖彦
教育総務課長 田辺文敏
学校教育課主幹 矢沢欣也
文化・生涯学習課長 藤巻久之
スポーツ振興課係長 兼
水球のまち推進室係長 鈴木武
図書館長 平田晃
博物館長 西巻隆博

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理 伊比孝

議 題

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 教育長専決処理報告
 - (1) 令和4（2022）年度一般会計補正予算（第8号）について
- 3 報告事項
 - (1) 柏崎市成人式「新成人フェスティバル2021」の開催について
 - (2) 8月6日は「アルビレックス新潟 柏崎市・出雲崎町デー」
 - (3) 「海で水球 in 柏崎2022」を開催しました
 - (4) 世界選手権でブルボンウォーターポロクラブ柏崎の選手が活躍しました
 - (5) 第35回北信越ジュニア夏季水球競技大会（結果報告）
 - (6) 雑誌リサイクル市（全2回）の実施報告について
 - (7) 共催・後援の事業について
- 4 その他
 - (1) 8月定例会の日程について

(2) その他

< 午後2時00分 開会 >

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、阿部委員、三嶋委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

(1) 令和4(2022)年度一般会計補正予算(第8号)についてを議題とする。

(教育総務課長)

コロナ禍における原油価格・物価高騰等により、市民の生活が厳しい状況である。国が支援策を講じている中に、学校給食費の増額分の補助がある。国の財源を基に、給食費の材料費の増加分に充てるもの。金額は1,870万円である。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(阿部委員)

国の財源で賄えるとのことだが、期間はいつまでか。また、補正予算額を積算した内訳を聞きたい。今後、新型コロナウイルス感染症のみならず、世界情勢や気候変動など、様々な事情により物価が上がる可能性がある。逆に、物価が下がることもあるかもしれないが、その場合の対応をお聞きしたい。

また、1人当たりの給食費の金額がいくらになり、上がった部分を全額、市が負担することが良いのか。多少なりとも、喫食をする子供たちが負担をしても良いと思う。過去には、天候不順などにより、給食費の値上げを行ったこともあったと記憶している。すべてを市が負担するのではなく、保護者や納入業者などそれぞれが負担しながら難局を乗り越える方法もある。

(教育総務課長)

補足の資料を配付し、説明したい。

まず、補正予算の目的だが、国から新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金が示され、コロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する保護者の負担軽減を図るよう指示があった。

本市は、年間の給食に係る費用を今年度より私会計から公会計に変更し、市の予算に計上している。想定した以上の支出を補うため、国からの交付金を入れ、支出の増額分を保護者が負担している給食費に上乗せしないことにより、保護者の負担を軽減するものである。

補正予算額は、1,870万円である。当初予算額は、3億6,275万4千円であり補正により3億8,145万4千円となる。

算出の根拠は、食料における消費者物価指数のうち、学校給食に影響のある生鮮魚介や生野菜など10品目の令和4年1月から5月分と、昨年1月から5月分を比較し、上昇率の約6パーセントを今の1食当たりの給食単価に掛けた。小学校の場合、現在の単価の280円に6

パーセントを掛けて求めた約17円が物価上昇によって想定される増加額となる。想定増加額17円を年間食数に掛けた額を補正要求額とした。

資料の別紙1に、学校給食に影響のある生鮮魚介や生野菜など10品目が載っているのので、確認願いたい。

給食費は、定期的に利用者から納めてもらっている。物価は上昇しているが、保護者が負担する給食単価を変えないことにより、負担軽減を図ることとする。

期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとしている。来年度の国の対応は未定である。

食材納入に係る契約についてだが、給食食材の選定方法は、指定業者による見積合わせを2ヶ月毎に実施し決定している。また、食肉や豆腐等の納入先が限定される物については、事業者と交渉をして価格を決定している。最近、豆腐が高騰傾向にある。

学校給食制度については、学校給食法により教育機関の設置者が実施することになっている。また、学校給食の運営費の維持管理や光熱費等は設置者の負担となり、保護者はそれ以外の食材費を負担することが定められている。また、各年代の栄養摂取量が学校給食実施基準により定められており、栄養士が管理しながら、その基準を目標に献立を作成している。なお、学校給食法を資料として配付する。

「今後の状況次第で追加補正や逆に価格下落で歳入もあるか」との御質問については、物価上昇が想定できないことから、歳入補正は、可能性としてはあるかもしれない。逆に、物価下落の可能性は当面ないと想定されるが、もし、下落しても既に予算作成時の想定を上回る支出となっており、安価な材料の導入も検討せざるを得ない状況にあることから、プラス予算に転じることはないと考えている。

「今回の補正予算額は一人当たりいくらになるのか」との御質問については、想定される1食当たりの増加額を小学校が17円、中学校が20円としている。補正予算が充てられる額は、小学生が一人当たり約3,400円、中学生が4,000円である。

(教育部長)

今回は、地方創生臨時交付金を有効に活用したいものである。過去に給食費を値上げした事案を紹介する。平成26年度2014年度に、消費税が5パーセントから8パーセントに上昇した際に、小学生の給食費を260円から現在の280円に、中学生が310円から現在の330円に上げた。

その前は、平成19年度2007年度に、世界的な天候不順による価格上昇があった年であり、小学生が255円から260円に、中学生が305円から310円に上げた。

この他に、平成16年度2004年度に、期間限定で4月から9月まで米価の高騰があり、小学校、中学校とも5円の値上げを行った。

(阿部委員)

今後、追加補正が必要となった場合も、保護者への負担は考えていないか。

(教育総務課長)

今の時点において、保護者への負担増は考えていない。

(米谷委員)

補正予算を措置し、保護者へ負担を求めないことを、保護者へ知らせているか。また、何かの機会にお知らせする計画はあるか。

(教育総務課長)

保護者には、給食費を値上げしないことを通知済みである。また、6月市議会でも一般質問があり、「柏崎市は、給食費に物価上昇分を上乗せする考えはない」と答弁している。

(近藤教育長)

保護者へ具体的な数字はお知らせしていないため、今後の検討としたい。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第3 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課(館)長が資料に沿って説明

- (1) 柏崎市成人式「新成人フェスティバル2021」の開催について
- (2) 8月6日は「アルビレックス新潟 柏崎市・出雲崎町デー」
- (3) 「海で水球 in 柏崎2022」を開催しました
- (4) 世界選手権でブルボンウォーターポロクラブ柏崎の選手が活躍しました
- (5) 第35回北信越ジュニア夏季水球競技大会(結果報告)
- (6) 雑誌リサイクル市(全2回)の実施報告について
- (7) 共催・後援の事業について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

4 その他

(1) 8月定例会の日程について 8月30日(水)午後1時30分開会

(2) その他

(米谷委員)

10月から、県の条例で自転車の任意保険へ全加入になるが、小・中学校では、各家庭へ制度をお知らせするのみか。任意保険への加入状況を確認する計画はあるか。

(学校教育課主幹)

県からの通知を各学校へ周知した。その際、加入状況の確認を行う内容にはなっていない。

(近藤教育長)

自転車を通学に使うケースと、自宅のみで使うケースがあるため、対応を検討し、後日、連絡する。

< 午後2時47分 閉会 >

以上、相違ないことを確認する。

令和4年（2022年）8月30日

教育長 近 藤 喜 祐

委 員 阿 部 健 志

委 員 三 嶋 崇 史